

【工夫のポイント】

○龍ヶ崎市では、市が事業主体となり、耕作条件改善事業を活用し、畦畔除去等による区画拡大を実施。

○大区画化等の基盤整備とともに、農地の集積・集約が進められており、R4～R6年度には、「農地集約型大規模水田経営体育成加速化事業」(県単:龍ヶ崎市東部地区)の実施により、2件のメガファームが育成された。

【取組地域の概要】

○位置
茨城県 龍ヶ崎市

りゅうがさきしどうぶ
龍ヶ崎市東部地区



○地区面積
・約1,000ha

※農地集約型大規模水田

経営体育成加速化事業(県単)の事業実施区域

○主要作物
・水稻

○主な支援施策
・県営ほ場整備事業大宮地区
(S41～S48)

・耕作条件改善事業(国・農地耕作条件改善事業)
(H28～)

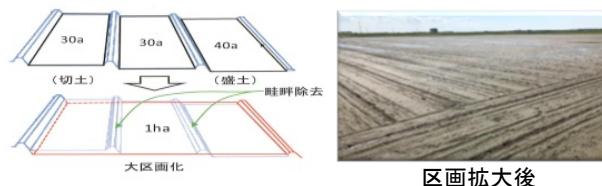
・農地集約型大規模水田経営体育成加速化
事業(県単)(R4～6)

基盤整備

畦畔除去による大区画化とともに
担い手への集積・集約を推進

○龍ヶ崎市では、9割以上の水田が30a以上に区画整理され、近年では、農地耕作条件改善事業を活用し、畦畔除去による1ha程度の区画への更なる拡大を推進。
當農作業を効率化することで、大規模経営体の更なる規模拡大にも貢献。

【耕作条件改善事業(国・農地耕作条件改善事業)の活用】
○龍ヶ崎市では、平成28年から、市が事業主体となり、約43haで畦畔除去による区画拡大、95haで暗渠排水を整備。



担い手への集積・集約

農地中間管理機構を活用した担い手への農地集積

○基盤整備(大区画化)と新メガファーム事業をあわせて推進したことにより、

➢ **A経営体は約40ha、E経営体は約30ha 耕作面積が拡大し、両経営体がメガファームを達成。**

➢ **A経営体の集約率が目標の90%を達成したほか、メガファーム事業対象5経営体の集約率の平均が約50%上昇し、88%となった。**

メガファーム事業

農地集約型大規模水田経営体育成加速化事業(県単)
～新メガファーム事業～の取組(R4～R6)

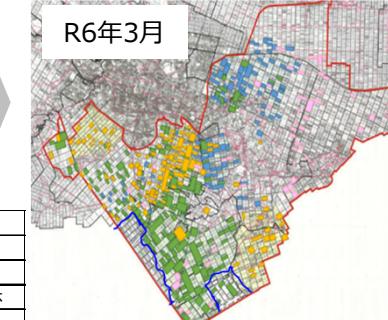
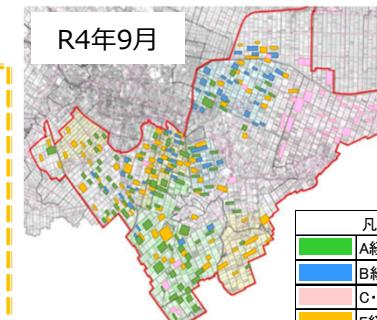
○水稻栽培の生産性や所得の向上を図るため、対象経営体への農地の集積による100ha規模の経営面積の拡大(メガファームの育成)や農地の集約(目標:集約率90%以上)を推進。

○集積・集約のため、対象経営体に農地を貸してくれる方や、集約に向け耕作地を交換してくれる方等に協力金を交付。

○事業を実施した龍ヶ崎市東部地区は龍ヶ崎市佐沼町、大徳町等に拡がる約1,000haの農地。



【集積・集約状況の推進状況】



凡例
A経営体
B経営体
C・D経営体
E経営体